

2009年4月25日 コーチ会議議事記録（19:30- グリーンセンター）

<確認事項>

- ・試合時の審判の手配は各学年監督においておこなう
- ・大会時のスケジュール確認・メンバーチェック・ユニフォームの選択は監督の指示・責任において行う
- ・ISC との定期合同練習（練習試合）については低学年におけるコーチングの困難と、他学年の練習の妨げになる事が考えられるため、決定は時期尚早として保留。

<話し合い（ラインを上げる事について）>

- ・低学年への徹底は無理
- ・ボールに行く/行かない、走る/走らないの指導がまず先にあるべきで、ラインが上がるのはその結果
- ・「仲間を助ける」ことを奨励し続け、その結果としてラインがあがるのでは
- ・「ラインをあげる」ことを指示する前に、それがどういうことなのかまずは理解させる事が肝要
- ・ライン云々にかかわらず、図（ホワイトボード）で今からやる練習を解説すると効果的ではないか
- ・公式試合中に普段の練習の中でやっていない事（ラインも含めて）指示を出すのは不適切
- ・ラインより先にディフェンスの基本を徹底する方が大切
- ・知識として与える事は必要
- ・コーチ（クラブ）全体である程度の意志の統一は必要だが、硬直した方針が行き過ぎると（例えば合同練習などが）難しくなるのでは
- ・ディフェンスはゴールを守る事ではないのであまり「守り」を意識させない
- ・インターセプトの練習をしてはどうか
- ・2対2、3対3形式の練習でディフェンス感覚とテクニックを身につけさせてはどうか
- ・本日の共通点は、いかにボール（とボールを持った相手）に向かっていくような選手にするかが重要課題であるということ

以上

